

堆肥の放射性物質検査結果について（第2報）

牛ふん堆肥の検査について、調査中の3市町のうち、阿見町の検査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。

- 1 検査の結果、阿見町の1製造所から暫定許容値（400Bq/kg）を超える放射性セシウム（700Bq/kg）が、検出されました。
また、その要因を分析するため、原料となる牛ふんや剪定枝（敷料）を検査したところ、剪定枝から1、400Bq/kgの放射性セシウムが検出されたため、原因を剪定枝と判断しました。
- 2 さらに、3検体中1検体で超過が見られた場合の国の検査手順に従い、別の3つの製造所を検査したところ、いずれも暫定許容値以下となりました。
- 3 以上の結果、阿見町では、
 - ① 暫定許容値を超過した製造所に対し、当該堆肥の出荷自粛を求めるとともに、適切に保管を行うよう要請しました。
 - ② また、暫定許容値を超えた1製造所を除くすべての製造所の堆肥については、出荷・施用を可能といたしました。

<阿見町の牛ふん堆肥の検査結果>

県放射線監視センター

| 検査日 | 放射性セシウム濃度 (Bq/kg) ※ | | | 備考 |
|----------|---------------------|-----|-----|-----------------|
| 8月15～18日 | 検体1 | 検体2 | 検体3 | 3点中1点のみ暫定許容値を超過 |
| | 200 | 50 | 700 | |



検体3の堆肥原料

| 検査日 | 放射性セシウム濃度 (Bq/kg) | | | 備考 | 資材 | 放射性セシウム濃度(Bq/kg) |
|-------|-------------------|-----|-----|-----------|-----|------------------|
| | 検体1 | 検体2 | 検体3 | | | |
| 8月25日 | 検出せず | 20 | 20 | 全て暫定許容値以下 | 剪定枝 | 1、400 |
| | | | | | 牛ふん | 検出せず |

※ 放射性セシウムの値は、セシウム134とセシウム137の合計値